

事業番号	248
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	街路施設整備事業							担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	道路係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		23 道路		1 円滑に移動できる道路を整備します					
		副目的										
	予算区分	款	8	項	4	目	2	大	3	中	2	
	根拠法令・個別計画	道路法										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	国県道整備に併せて、市道を整備することにより、市道の機能回復や交通の利便性・安全性の向上を図る。										
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容 主に国県道整備との接続部の測量設計委託、工事の施行。 職員は、上記の委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。</p> <p>○25年度直接経費の内訳 【委託業務内容】 測量、設計等の委託費(1,976千円) 【工事の内容】 街路整備工事費等(市道町口3号線、市道三ツ淵90番線ほか) (7,571千円) 【物件移転補償費】 電柱の支障移転等(1,808千円)</p> <p>○26年度直接経費の内訳 【委託業務内容】 測量、設計等の委託費(4,000千円) 街路整備工事費等(8,200千円) 物件移転補償費等(2,000千円)</p>										
	受益者負担	無										

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,147	7,331	11,355	14,200	
		正職員	従事者数	人	0.02	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	105	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	4,252	7,857	11,881	14,726		
対前年比	%			184.7	151.2	123.9		
財源	一般財源	千円	4,252	7,857	11,881	14,726		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
	整備箇所数	箇所	目標		3	3	3	3
			実績		2	6	8	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
	市民の声等による市民からの改善要望の回数	回	目標		0	3	0	0
			実績		0	0	2	
		目標						
		実績						

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	新名犬バイパス(施工主体:愛知県)の開通に伴い、市街地への通過交通はスムーズに通過している。また、要望に対応するため、市街地へ誘導の案内看板を設置したので、誘導が出来た。				
		事業実施における課題	国県道整備状況により、関連する市道の交通体系が変化することから、事業主体(国・県)との打合せ協議等の場を設ける必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を縮小・廃止したとき、国県道整備状況により、関連する市道の交通体系の大幅な変化に対応できず、交通安全性及び交通利便性を確保できないため、交通事故等を誘発する恐れがある。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	国県道の事業主体である国・愛知県と連携を密にし、すみやかに現場の状況に合わせて、交通安全に心がけ、整備をしていく。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	国県道整備状況により、関連する市道の交通体系の大幅な変化に対応し、交通安全性及び交通利便性を確保しなければならないため現状維持と考える。					
	27年度以降の改善案	国県道の事業主体である国・愛知県と連携を密にし、現場の状況を常に把握することにより、関連する市道の交通安全性及び交通利便性を確保していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。